

■地域の特性

1	依田川を中心に、水と緑の豊かな自然環境に恵まれた地域
2	国道152号や254号が通る交通の要衝
3	高い技術力を持つ製造業の集積地
4	丸子温泉郷や信州国際音楽村などの観光地が点在
5	地域の中心部には都市機能が集積し、沿道型市街地を形成

■発展の方向性

〈まちづくりの基本的方向性〉

1	自然環境や美しい景観を保全しながら依田川、内村川周辺に親水空間を創出し、地域資源の有効活用を進めます。
2	職住近接のゆとりある生活空間創出や健幸都市の実現を目指すと共に、日常生活や観光・流通のための道路整備を進めます。
3	丸子温泉郷や信州国際音楽村、梔子ワイナリー、あさつゆなどの観光・文化資源を効果的に連携させながら、地域内外の交流を促進します。

〈取り組みの方向性〉

取り組みの内容		視点・要素
①	参加と協働による住民自治の推進	先人からの進取の精神を受け継ぎながら、社会情勢の変化に対応し、地域の知恵と情熱そして未来へ向けた行動力を結集し、新たなまちづくりを推進
		少子高齢化に対応するため、地域の実情に沿って行政と市民の協働による安全・安心で、満足度の高い地域づくりを推進
		地域の特色と、人のつながりを大切にし、住み続けたいと思える豊かな地域づくりの推進
②	自然環境の保全と人々が共生できる地域づくり	豊かな自然環境に感謝する気持ちを広げながら、多様な機能を持つ河川や森林、里山の積極的な整備を継続
		依田川・内村川沿川を健康づくり事業の拠点に位置付け、健幸都市実現に向けた各種事業を推進
		丸子修学館高校、上田市商工会及び上田市とのパートナーシップ協定に基づき、交流促進、相互協力、人材育成を目的とした地域づくりの推進
		文化遺産、近代化遺産を活用し、丸子地域を再確認し、誇りの持てるまちづくりを推進
③	軽快な交通ネットワークの整備	事業化が始まっている国道254号バイパスのさらなる推進と防災拠点となる休憩所の整備とともに、国道152号丸子バイパスの早期事業化を国や県に働きかけ、「上田地域サンマル交通圏構想」を促進
		幹線道路に接続する生活道路の交通環境の整備を進め、循環・交流を促進し生活環境の向上と安全で安心して暮らせるまちづくりを推進
		住民の身近な公共交通である路線バスを維持するとともに、地域主導型公共交通の整備を推進
④	連携による次世代産業の創出と創業・雇用の促進	地域の技術力を活かした新産業の創出や研究開発型企業への支援を推進し、創業の増加や新たな雇用の拡大により、職住近接のゆとりある地域づくりを促進
		様々な企業や団体、大学等の協働や産学官連携の交流促進などにより、製造業の潜在力を引き出すと共に高度化を図り、持続的成長を促進
		事業承継や地域内受注発注体制の拡大を支援し、産業競争力を強化
⑤	地域資源を生かした新たな観光や産業の創出	丸子温泉郷の特徴を生かしつつ、新たな地域資源の特性を生かしながら、農・商・工・観・医・学と連携させ魅力ある観光地づくりを推進
		活気のあるまちづくりに向け、中心市街地の実情を把握しながら産学官及び異業種間の連携を推進し、地域資源の掘り起しや有効活用策の検討を促進
		梔子ワイナリーを核とした、陣場台地一円の整備と地域活性化を推進
		6次産業化に取り組み、地域資源の有効活用や地域全体の産業発展を促進
⑥	健幸都市の実現	次世代を担う子どもたちを安心して産み、育てられる環境整備を進めながら、子育てサロンや子育て支援センターの充実を図ると共に、地域の支援協力を継続し、地域ぐるみの子育て支援を推進
		健康寿命延伸の為、住民参加型事業の充実を図り、介護予防事業やウォーキングを中心とした健康づくりを推進
		災害時の避難困難者を守るため住民支え合いマップの取り組みを推進し、自治会との連携を図りながら、高齢者や障がい者が生きがいを持ち、安心して暮らせる地域づくりを推進
⑦	生涯学習拠点の有効活用	生涯学習事業への参加者増加を促進するため、地域内施設を効果的に活用
		文化活動団体と連携し、各種団体の育成・交流の推進と利用者の満足度の向上を促進するため地域内施設の情報連携を強化
		信州国際音楽村を文化と賑わいの拠点とし、梔子ワイナリー等の観光事業と連携を図るとともに施設整備を推進